

経営比較分析表（平成29年度決算）

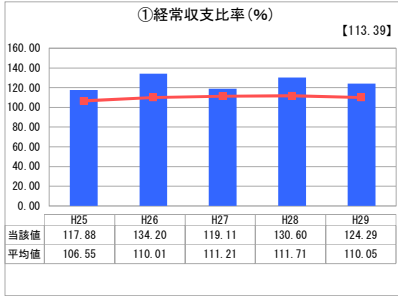
高知県 安芸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	72.49	97.05	2,160	

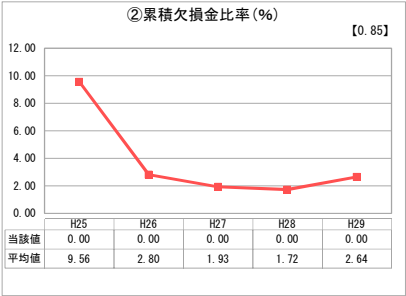
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,736	317.21	55.91
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,031	26.40	645.11

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

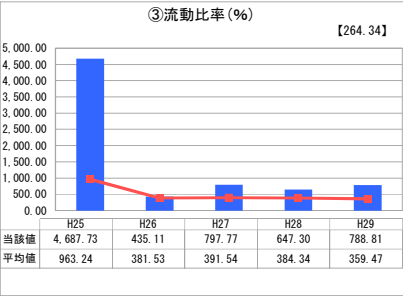
1. 経営の健全性・効率性



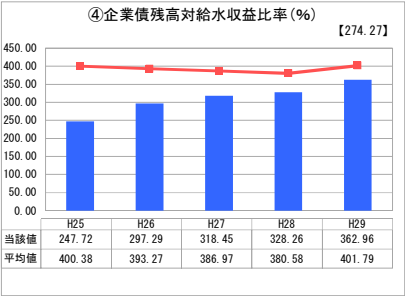
「経常損益」



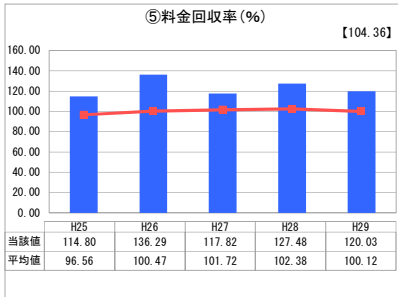
「累積欠損」



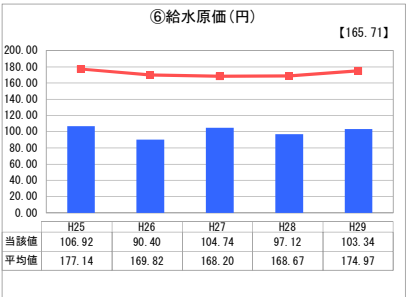
「支払能力」



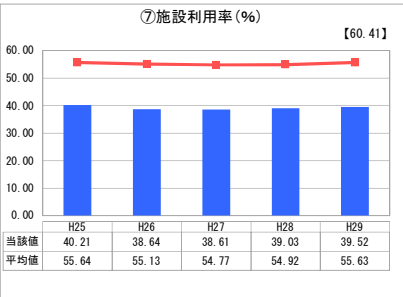
「債務残高」



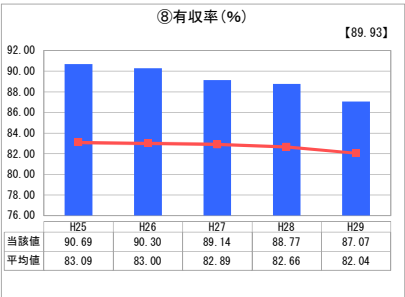
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

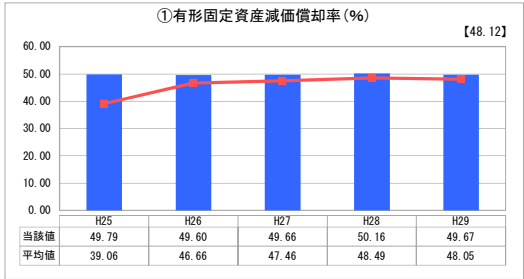


「施設の効率性」

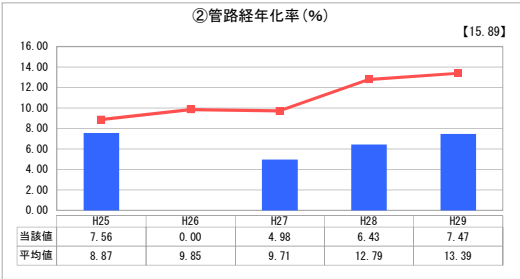


「供給した配水量の効率性」

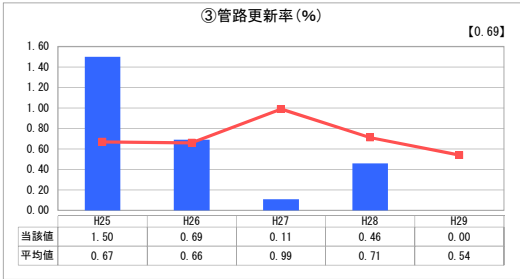
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②各年度の収支は黒字で欠損金も無く、平均値を上回っていることから、健全な状況と言える。しかし今後は、南海トラフ地震対策や老朽施設更新等への投資が増加する予定であり、更なる費用削減に取り組む必要がある。

③平成26年度からの新会計基準適用により比率は大きく下がったものの、平均以上は確保している。

④平成25年度から簡易水道統合事業に企業債を発行し、今後も南海トラフ地震対策や老朽施設更新等のために発行する予定となっている。水道事業に有利な起債以外を抑制するなどの対策が必要である。

⑤⑥料金回収率は100%を超え、かつ平均以上となっていることを表している。また、給水原価が平均より低く、有収水量1mあたりの費用を抑えていることを表している。今後も維持管理費削減などの経営努力を継続する。

⑦施設利用率は平均値を下回っており、原因は建設当時から人口減少と節水による配水量の減少によるものである。災害時のバックアップ機能も考慮しつつ、適切な施設規模を検討していく。

⑧市内を東西で分けて2年に1回漏水調査を行い、漏水があれば随時修繕で対応しているため、高い有収率を保っている。今後も継続して漏水調査を行う。

2. 老朽化の状況について

①②法定耐用年数を超えた管路は平均より少ないものの、法定耐用年数に近い管路が全体に占める割合が高くなっていて、計画的な更新の必要性が高まっていることを示している。③簡易水道統合事業が平成29年度で完了することに伴い、平成30年度以降は南海トラフ地震対策や老朽施設更新等により、管路更新率は高まっていく。

なお、平成30年度に今後の施設更新計画を策定する予定である。

全体総括

経営状況は、現時点ではおおむね良好であると言える。しかし、今後は南海トラフ地震対策や老朽施設更新等を予定していて、建設改良費の増加、企業債償還の増加、減価償却費の増加などが見込まれるため、水道事業経営は厳しくなると予想される。今後も安心・安全な水の供給を維持するため、管路等の新規・更新需要等の将来試算と経営収支の見込みを立て、維持管理費削減や更なる収納率の向上などといった経営努力を継続してなお財源が不足するようであれば、適正な料金水準を設定する必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。